

いじめ問題一次対応振り返り表

いじめの相談や訴えに対して、親身になって受け止めた。

被害生徒から、いじめのないようにについて、十分に話を聞くことができた。

被害生徒の生命の安全を最優先し、安全確保を行った。

初期対応の重要性を認識し、管理職への報告を迅速かつ的確に行った。

個人ではなく、管理職を中心にした体制のもと、チームを組織して対応した。

被害生徒や保護者の気持ちや思いを十分に受け止めている。

加害生徒や関係する生徒に対し、事実と経過を複数の教職員で確認することができた。

事実確認と指導を明確に区別し、冷静かつ客観的に事実確認を行うことができた。

当該生徒の保護者に、複数で家庭訪問を行い、保護者同席で事実確認を行った。